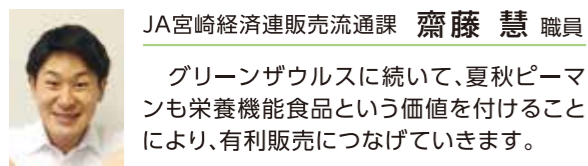


3 特長ある商品づくり・安定的な取引づくり

夏秋ピーマンを栄養機能食品へ

令和2年7月から、県内JAで栽培されている夏秋ピーマンを「栄養機能食品(ビタミンC)」として販売を開始しました。

これにより、冬春ピーマン“グリーンザウルス”とあわせて、年間を通してピーマンを栄養機能食品として販売することが可能になりました。

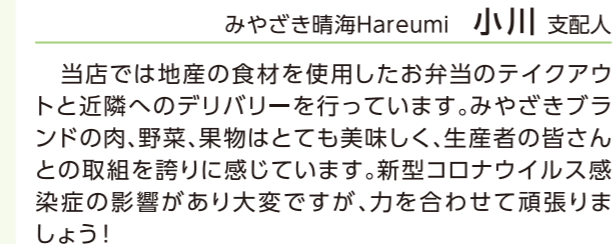


夏秋ピーマン「栄養機能食品(ビタミンC)」

おうちでたべてカラダグッドキャンペーン

新しい生活様式に対応した「ケータリング・デリバリー&テイクアウト」を実施されている飲食店を応援します。

これまでにみやざきブランド推進本部と連携した取組を行ったお店を対象に、宮崎県産の食材を使用したカラダにグッドなオリジナルメニューを特設サイトで紹介しています。



みやざき晴海のテイクアウトメニュー「松花堂弁当」



おうちでたべてカラダグッド特設サイト

宮崎ハイボールキャンペーン

宮崎県産日向夏を使用したハイボールを宮崎市、都城市、日南市の飲食店にて提供する「宮崎ハイボールキャンペーン」を11月30日まで実施中です。

甘酸っぱい日向夏のハイボールをぜひご賞味ください!

また、日向夏の発見から200年を記念した特設サイトを随時更新しています。ぜひご覧くださいね。



宮崎ハイボールキャンペーンチラシ



宮崎ハイボールキャンペーンサイト



日向夏発見200年特設サイト

宮崎牛、完熟マンゴアの特別販売キャンペーンを実施しました。

新型コロナウイルス感染症対策として実施した宮崎牛と完熟マンゴアの特別販売及びキャンペーンは、おかげ様でどちらの企画も、全国の皆様からたくさんのご注文を頂き、高品質であることへのお褒めの言葉や応援をたくさんいただきました。

ミヤチクオンラインショップでは、美味しい宮崎牛をいつでもご購入できます。ぜひ、ご利用ください。



マンゴーキャンペーン



宮崎牛キャンペーン



ミヤチクオンラインショップ



みやざきブランド『かわら版』

みやざきブランド推進本部(宮崎県・JA宮崎経済連)

No.4
2020年
秋号

みやざきブランド産地の動きや産地・品目ごとの取り組みを広く紹介する みやざきブランド『かわら版』。

今回は、高度環境制御ハウス、GAPの認証取得、夏秋ピーマンの栄養機能食品化やプロモーションの取り組みを紹介します。

信頼される産地づくり

特長ある商品づくり

安定的な取引づくり

ブランド
戦略

令和2年度トピックス

1 信頼される産地づくり スマート農業の取組

◆高度環境制御ハウス

今年3月に竣工した高度環境制御ハウス(宮崎市佐土原町)では、軒高4.2mの高軒高ハウスで養液栽培を実証しています。今年、ピーマンを3月18日、きゅうりを3月27日に定植し、ピーマンは7月まで、きゅうりは8月まで収穫しました。8月までの10aあたり収量は、ピーマン7.4t、きゅうり14.4tで、約4ヶ月の試験的な栽培ではありましたが、目標収量達成に向けて十分な収量でした。

栽培が難しい夏の時期でも、遮光カーテンやミストを活用し、収量の向上と年間を通じた栽培に取り組んでいます。

本年度の成果と課題

- 成果: 高軒高ハウスと養液栽培における目標収量の達成
- 課題: より精密な養液栽培管理技術の確立、生育・収量にあわせた栽培管理、秀品率の向上

高度環境制御ハウス10aあたり収量

品目	8月末		初年度年間目標
	当初計画	実績	
きゅうり	14t	14t	44t
ピーマン	5t	7t	22t



JA宮崎経済連営農振興課 佐久間 深 主幹

きゅうりとピーマンは県内で多くの生産者に栽培されています。冬春栽培が中心ですが、新たな栽培様式の技術確立により年間を通して収量を上げることが目標です!プレッシャーはありますが、とてもやりがいを感じています。



きゅうりの養液栽培



高所作業車によるつる下ろし作業



JA宮農指導員への研修



ピーマンの養液栽培



遮光カーテンとミストによる暑熱対策



太陽熱消毒中のハウス内

2 信頼される産地づくり GAPの取組

◆GLOBALG.A.P. 団体認証を4団体が取得!

JA宮崎中央にら部会、JAはまゆうピーマン部会の一部、JAえびの市ピーマン部会、JA尾鈴ミニトマト栽培グループ(生産者:合計86名、選果場:5カ所、事務局:各JAおよびJA宮崎経済連)が、令和2年4月20日付けで、生産工程管理の国際基準GLOBALG.A.P.の団体認証を取得しました。

JA宮崎中央にら部会 祝園 隆志さん

たくさんの基準を達成することは簡単ではありませんでしたが、部会としては前から減農薬栽培等を行っていたため、取り組みやすかったです。

この取得によって消費者の皆さんにさらなる安全・安心をお届けできることを誇りに思います。

JAはまゆうピーマン部会中間支部 武田 昭一郎さん

資材整理や記録などの管理項目が多く、苦労はしましたが、生産者としてやるべきことを理解し団体認証を取得できました。

今後も安全・安心な青果物を生産していきます。

JAえびの市ピーマン部会 田中 義正さん

大変でしたが、ブランド力を高めるために、普通のことだけをやっていたはだめだと考え、取り組みました。

消費者の求める安全・安心なものをこれからも提供していきたいです。

JA尾鈴ミニトマト栽培グループ 齋藤 嘉貴さん

近年、ミニトマトは供給過多で、会員には共通して危機意識がありました。国際基準であるGLOBALG.A.P.認証は、安全・安心な農産物を生産している証です。今後、市場や消費者に信頼され、選ばれる産地になることにつながると思います。

◆「安全・安心」5Sチェックシートを活用したGAPの取組

生産者の皆さんが最初に取り組みGAPとして「5Sチェックシート」を作成しました。

5Sチェックシートは、ひなたGAPの項目の中で、生産物や生産者の皆さんの安全・安心に必要な項目について「整理、整頓、清掃、清潔、セーフティー」の5項目(5S)の取組や改善を実践するためのものです。

5Sチェックシートや5Sポスターを、安全・安心の確保と経営改善に活用し、GAPに取り組みましょう。

みやざきブランド産地 「安全・安心」5Sチェックシート

5S活動(整理・整頓・清掃・清潔・セーフティー)に取り組むと...



取り組んだ方からは、
 ・気持ちよく仕事をすることができる。
 ・いつでも誰でもほ場に呼ぶことができる。
 などの声が寄せられています。

整頓 道具や資材、農薬等は定位置に置く。			
	チェック	出荷物への異物混入を防ぐため、道具や資材は使用前後に数を確認し、定位置に戻した。	出来なかった理由など
	チェック	出荷物の周辺に異物混入の原因となる物を置かなかった。	出来なかった理由など

5Sチェックシート表紙

チェック項目一例

◆JAこばやしマンゴー部会GAP研究会、ひなたGAP団体認証を拡大! —

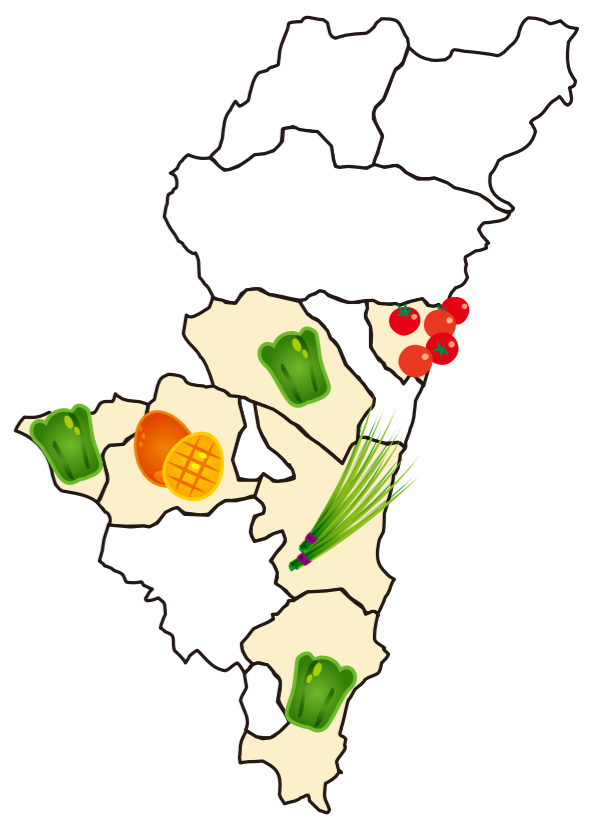
JAこばやしマンゴー部会GAP研究会は平成31年3月に、ひなたGAP初の団体認証を7名で取得。令和2年8月21日には新たに16名が追加されました。

JAこばやしマンゴー部会GAP研究会 松田 泰一さん

この認証は消費者に対して高い品質保証と安全・安心な商品を提供することを意味しており、この認証に恥じない商品を生産し、これを契機に、我々生産部会も消費者の信頼を勝ち取ると共に、農家経営の益々の活カアップに繋げていきたいです。



団体認証を受賞した皆さん



◆JA西都減農薬ピーマングループが ひなたGAP団体認証を取得!

JA西都減農薬ピーマングループ(18名)が令和2年5月15日付けでひなたGAP団体認証を取得しました。

グループでは、平成30年から認証取得に向けた検討を開始し、安全な農場づくりや記録書類の作成など、18回の勉強会を繰り返し、審査に臨みました。

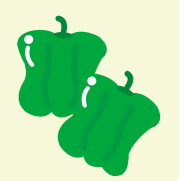
共同選果場でも、荷受けした生産物の安全性を高めるため、いくつかの作業ルールを設定するとともに、審査に当たっては職員総出で環境整備を行いました。



JA西都減農薬ピーマングループ 金丸 哲也さん

会員の家族や選果場の職員など、多くの方々の協力を得て、ようやく認証を取得できましたが、これからがスタートだと思っています。

皆で知恵を出しながら新しいことに取り組み続け、私たちの次やその次の世代でも安心してピーマン生産を続けられる産地を作りたいです。



現地検討会



選果場での研修会